

# 豊田民報

日本共産党豊田市委員会  
◆豊田市日之出町一六六  
Tel: 三三・四七二  
毎週一回発行

## 桜を見る会

# 真相徹底解明へ野党が結束 もとむら衆院議員が国会報告

日本共産党豊田市後援会は17日、2019年度の総会を開催し、臨時国会の会期中で多忙の中、もとむら伸子衆院議員が駆けつけ、国会報告が行われました。

今国会で大問題となっている安倍首相主催の「桜を見る会」。国会では、5月13日の衆議院決算行政監視委員会



で、日本共産党の宮本徹衆院議員が追及していました。「桜を見る会」の予算額と支出額とのかい離があり、予算計上額は約1766万円ですが、今年の支出額は、その3倍以上の5518万円を超えています。参加人数も、安倍政権以降、増え続け今回は約1万8200人、そのうち安倍首相の後援会員が約

850人。さらに問題は、高級ホテルでの前夜祭参加費が5千円となっており、安倍事務所が補てんしたのでは、との疑惑です。  
野党は結束して真相徹底究明のため、追及チームを立ち上げ、安倍政権に対峙し、退陣に追い込む構えです。

## 被災地を視察し、被災者の声を届ける

また、もとむら議員は日本郵政かんぽ不正問題で質問した内容や、台風被災地の視察で、三重県伊勢市、静岡県伊豆の国市などの被災者の声を聞き、伊勢市では、災害救助法にある応急修繕費が、被害の範囲の要件から外れているため適応されず、復旧が遅れている問題を指摘しました。

11月6日には、航空自衛隊が、弾道ミサイルを低空で迎撃することを想定したPAC-3の訓練を、日進市にある愛知県口論義（こうろぎ）運動公園でおこなった問題で、防衛省航空自衛隊監部は、事前に愛知県や日進市に説明して「ご理解いただいた」という認識であったこと、自治会や住民への「説明はしていない」とのことであり、もとむら議員は、PAC-3訓練が住民に知らされることなく行われることにも、強く抗議したことが報告されました。  
もとむら議員は、あいちトリエンナーレへの補助金不交付問題など、憲法違反の政治への怒りを束ね、安倍自公政治を終わらせる決意を語り、参加者を励ましました。

2020年2月

# 市長選挙にむけて 政策協議すすむ

住みよい豊田を創る会は、来年2月の市長選挙に向けて、政党・団体・個人の意見を基に、政治姿勢と基本政策をまとめました。

### 【政治姿勢】

市民の声に耳を傾け、訴える市民に寄り添う市政を貫きます。

### 【基本政策】

- ◇義務教育での少人数学級を拡大します。
- ◇こども園・図書館の民間移管・民営化政策を、市民とともに考え、見直しも視野に再検討します。
- ◇2025年問題（団塊の世代の全員が75歳に達する）に対処するために、医療センターを基軸に、老保施設を確保します。
- ◇市民全員に救急医療が及ぶ体制を確立します。
- ◇核となる都市公園を拡充するとともに、地域の公園や憩いの場を大切に、子育てしやすい環境を確保します。
- ◇おいでんバス・地域バス等の公共交通を拡充し、高齢者が移動しやすいまちづくりをすすめます。
- ◇住民の経験と知恵を尊重した、中山間地域の防災対策や振興策を確立します。

# 保育キヤラバンが豊田市へ 保育士の質の確保・学童の施設充実を

愛知保育団体連絡協議会の保育キヤラバンが10月30日、豊田市を訪問しました。豊田の保育を考える会の会員が参加、根本みはる市議が同席しました。

今年の懇談内容は、育児休業への対応と兄弟同時入所、企業主導型保育事業の開設などの待機児童対策、保育士不足と保育士確保の施策、放課後児童支援員の配置、面積の確保等で、回答がされました。職員体制では、正規保育士



確保策として、ICT化で、実証実験を10園でおこなって、事務負担軽減を図っているとのことでした。参加者からは、保育士資格が無い方も研修を受けて園に来て、現場で活かせる研修を充実させてほしい、と要望が出されました。

放課後児童クラブ(学童保育)の支援員からは、静養室、トイレ、手洗い場の整備の要望が出されました。

# 全国からの台風災害救援募金 被災地にお届けしました

日本共産党は、広範囲に甚大な被害を与えた台風被害の救援募金を呼びかけました。

党中央委員会にお寄せいただいた募金は11月8日時点で7200万円を超えました

(豊田市内で呼び掛けた街頭募金31557円も送りました)。温かいご支援に心から感謝申し上げます。この募金は、被害の大きかった自治体に義援金としてお届けします。引き続き、ご協力をお願いいたします。



# 徴用工問題と日韓関係 豊田革新懇が総会と講演会



豊田革新懇(平和と民主主義・革新統一をすすめる豊田懇談会)は9日、2019年の総会と記念講演会を開催しました。記念講演は、高橋信(まこと)氏から「徴用工問題と日韓関係」と題しておこなわれました。高橋氏は、名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会共同代表です。朝鮮女子勤労挺身隊訴訟は、戦中、朝鮮半島から、名古屋三菱へ強制連行・労働させられていた少女達が、国と三菱重工業に対し、奪われた人生の被害への謝罪と償いを求め、1999年3月に訴訟を提起したものです。2005年3月に名古屋地裁が韓日請求権協定を理由に請求を棄却したため、控訴審で引き続き救済を求め、提訴から20年となった今年、4名の原告が亡くなっています。日本政府には、植民地支配による加害の歴史の真実に向き合、日韓両国政府が対決するのではなく、対話を通じた問題解決が求められます。豊田革新懇の総会では、1年の活動報告と、安倍改憲阻止の運動、豊田市を民主的市政にする活動方針、役員体制など決定しました。

**学習会**

**消費税の増税後、1か月暮らしへの影響は？  
経済への影響は？**

□日時 11月24日(日)午前10時～

□会場 豊田市福祉センター 43会議室

講師 岸野 とも子氏 (消費税をなくす愛知の会事務局長)

主催：消費税増税に反対する豊田連絡会

**無料 法律・生活相談  
おこなっています**

暮らしの目線で  
政治を変える、たしかな力

◆毎週土曜日 午前10時～12時  
◆法律相談は弁護士、生活相談は市議会議員が相談にのります。

◆要予約。お申し込みは党市議会議員か日本共産党西三地区委員会まで  
TEL0564-23-2785

 

党市事務局長 豊田市議会議員